

## 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

### 事業名【新】観光産業における「稼ぐ力」向上推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光国際部 観光国際政策課 政策企画係 電話番号：058-272-1111(内3915)

E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,000 千円 (前年度予算額：0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

新型コロナウイルス感染拡大の影響から観光需要が回復に向かう中、観光産業においてコロナ禍前から構造的課題となっている生産性の低さや人材不足などが一層顕在化している。これらの構造的課題を中長期的な視点から解決するには、生産性向上による経費節減に加え、観光産業の「稼ぐ力＝収益を上げる力」の向上・強化が喫緊の課題となっている。

コロナ禍の影響で宿泊単価の低下が進むとともに、人材不足等から観光需要を十分に取れない状況が続く中においては、県が主導して、地域や業界と連携して、宿泊業の高付加価値化等を推進し効率的に収益を確保する「稼ぐ力」の向上を産業全体で図ることが不可欠である。

### (2) 事業内容

県内宿泊事業者向けに以下の取組みを行うことで、宿泊施設の高付加価値商品の造成・販売力強化を実現し、観光産業の「稼ぐ力」の向上を目指す。

- ①高付加価値商品造成・販売の支援
  - ・高付加価値商品の造成にかかるセミナー
  - ・宿泊業を対象とする経営コンサルタントを活用した個別相談
- ②DX化の具体的手法等にかかる研修会等
  - ・若手経営者を対象とした観光DXにかかる研修会・ワークショップ

### (3) 県負担・補助率の考え方

本事業は県内観光産業の振興を目的とする事業であり、県負担は妥当。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	63	プロポーザル評価会議構成員謝金
旅費	193	費用弁償、業務旅費
需用費	4	茶菓代
委託料	4,740	セミナー、個別相談、研修会
合計	5,000	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略
- 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
- (2) 次世代を見据えた産業の振興
- ④観光産業の基幹産業化

### (2) 国・他県の状況

観光産業の高付加価値化による「稼ぐ力」の向上は、国等でも取り組まれている。

### (3) 後年度の財政負担

短期的に解決できる問題ではなく、一定期間、継続して行う必要がある。

### (4) 事業主体及びその妥当性

本事業は県内観光産業の振興を目的とする事業であり、県が主となることは妥当。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内観光事業者向けに以下の取組みを行うことで、宿泊施設の高付加価値商品の造成・販売力強化を実現し、観光産業の「稼ぐ力」の向上を目指す。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①観光消費額		2,702億円	2,900億円	3,100億円	3,600億円	75.1%
②観光入込客数 (実数)		4,263万人	4,750万人	4,800万人	5,300万人	80.4%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 3	アフターコロナを迎え観光需要が増加する中、宿泊業界は人材不足等を要因とした機会損失により、観光GDPの向上が一層厳しい状況に陥っている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</li> </ul>	
(評価)	

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>事業が直面する課題や改善が必要な事項 本県が「世界に選ばれる観光地」としてさらなる成長を遂げるためには、観光産業の「稼ぐ力」の向上による持続可能な観光地域づくりを実現する必要がある。</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 観光産業の「稼ぐ力」の向上は、短期的に解決できる問題ではなく引き続き事業の継続が必要である。</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】